

## 医学系研究に関するお知らせ

2021年9月21日

本院では、患者様の診療情報等を用いた研究を実施しています。この研究は、特定非営利活動法人日本臨床歯科学会の倫理審査を経て実施される研究です。ご自分の診療情報等が本研究に用いられることを望まれない患者様は、末尾に記載した連絡先にご連絡ください。不利益を受けることは一切ありません。

研究課題名	インプラント補綴治療前後における歯肉溝およびインプラント周囲溝の <i>Porphyromonas gingivalis</i> の菌数の変化について
研究責任者	齋藤 誠
研究体制	一施設単独
研究（症例）の背景・目的・意義	<p>背景：歯周病は、バイオフィルムの <i>Porphyromonas gingivalis</i> による Microbial shift によって発症する。<i>Porphyromonas gingivalis</i> の中でも <i>Porphyromonas gingivalis</i> Type II の病原性が最も高く、歯周病の予防・管理には、細菌検査でバイオフィルムの病原性を診断することが重要となる。また、バイオフィルムはインプラント周囲炎発症の危険因子の一つとされている。</p> <p>目的：2020年より一般歯科診療所で使用可能となった、PCR方式の口腔内細菌検出装置（<i>orcoa</i>、株式会社オルコア、大阪、日本）を用いて、非侵襲的に、インプラント支持補綴装置装着前の天然歯周囲歯肉溝の <i>Porphyromonas gingivalis</i> の全菌数及び <i>Porphyromonas gingivalis</i> Type II の菌数に対して、インプラント支持補綴装置装着後の同天然歯周囲歯肉溝の同菌数に変化があるか、また、インプラント支持補綴装置周囲溝の同菌数と差異について、装着直後および装着後3ヶ月と6ヶ月に調査する。尚、インプラント支持補綴装置の装着開始は、プロビジョナルレストレーションの装着時とする。</p> <p>意義：チェアーサイドで、PCR方式の口腔内細菌検査を行い、バイオフィルムの病原性を診断して、インプラント補綴のメンテナンス指針作成の先行研究とする。</p>
研究対象	口腔内に初めてインプラント補綴治療を受けた患者。年齢性別は問わない。
研究方法	チェアーサイドでPCR方式の口腔内細菌検出装置 <i>orcoa</i> を用いて、インプラント支持補綴装置及び残存天然歯の <i>Porphyromonas gingivalis</i> 全菌数及び <i>Porphyromonas gingivalis</i> Type II の菌数を計測する。
研究実施期間	2021年9月21日2023年3月31日
研究（症例）に用いる試料・情報の種類	<p>試料：プラーク</p> <p>情報：口腔内細菌検出装置 <i>orcoa</i> を用いた検査結果数値</p>
個人情報の保護	<p>試料は検査終了後に廃棄する。</p> <p>検査結果は匿名化してノートに記載し、院長室内の金庫にて5年間保管する。</p>

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 齋藤 誠

部局等： さいとう歯科医院 院長

住 所：〒 693-0024 出雲市塩冶神前 6-4-9

電 話： 0853-22-4180